



附属中学校生徒対象の講座「佐賀大学の授業を受けてみよう」にて 理工学部教員が授業を実施

【概要】

理工学部の教員3名が、令和5年9月2日（土）に佐賀大学本庄キャンパスにて開催された佐賀大学教育学部附属中学校育友会主催の講座「佐賀大学の授業を受けてみよう」で授業を行いました。

【本文】

佐賀大学教育学部附属中学校育友会主催の講座「佐賀大学の授業を受けてみよう」が令和5年9月2日（土）に本庄キャンパスにて開催されました。本講座は、自分の将来を考え始める中学生時代に、様々な専門分野の興味深い授業を受けることによって、社会のしくみと学問分野とのかかわりを知り、将来に向けて、自分の才能を育てていく機会を与えることを目的に開催されています。今年度は各学部等から9つのテーマで授業が行われ、附属中学校3年の生徒が受講しました。

理工学部からは下記3名の教員が授業を行いました。受講した生徒はメモを取りながら熱心に聴講していました。生徒の皆さんの進路選択の一助になれば幸いです。

○テーマと担当教員

- ・「Wi-Fiはどうしてつながるの？」

豊田 一彦 教授（電気電子工学部門）

- ・「宇宙は何からできているか？」

船久保 公一 教授（物理学部門）

- ・「太陽光発電が拓く未来 ～発電原理から最先端技術まで～」

田中 徹 教授（電気電子工学部門）



船久保 公一 教授



豊田 一彦 教授



田中 徹 教授